

⑬小出地区

ア 地域別配置状況

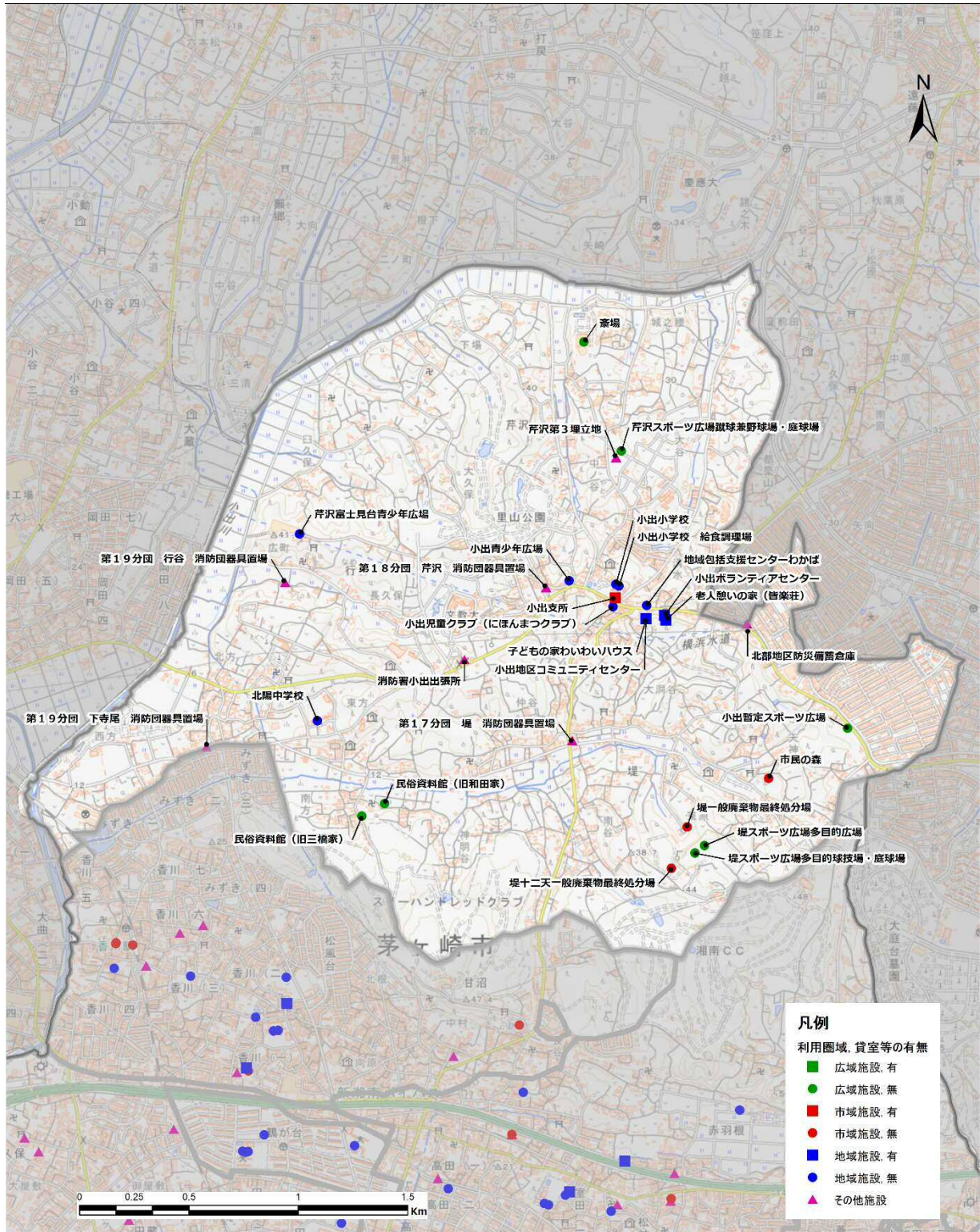


図 6-109 小出地区の地域別配置状況

イ 施設基本情報

表 6-110 小出地区の施設基本情報

施設名称	施設大分類	利用 圏域	延床 面積	建築 年度	貸室構成				
					利用率	和室	会議室	多目的室	研修室
小出支所	行政系施設	市域施設	459	S52	44.0%	1	1		
消防署小出出張所	行政系施設	その他施設	387	S60					
第17分団 堤 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	83	H10					
第18分団 芹沢 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	70	H4					
第19分団 行谷 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	60	H15					
第19分団 下寺尾 消防団器具置場	行政系施設	その他施設	50	H3					
北部地区防災備蓄倉庫	行政系施設	その他施設	146	H26					
斎場	環境衛生施設	広域施設	4,044	H4					
堤十二天一般廃棄物最終処分場	環境衛生施設	市域施設	539	H15					
堤一般廃棄物最終処分場	環境衛生施設	市域施設	141	S60					
芹沢第3埋立地	環境衛生施設	その他施設	-	-					
小出児童クラブ（にほんまつクラブ）	福祉施設	地域施設	83	不明					
老人憩の家（皆楽荘）	福祉施設	地域施設	297	S53	76.4%	1		1	
小出ボランティアセンター	福祉施設	地域施設	33	S53					
地域包括支援センターわかば	福祉施設	地域施設	148	不明					
小出小学校	学校教育系施設	地域施設	5,688	S43					
北陽中学校	学校教育系施設	地域施設	5,576	S50					
小出小学校給食調理場	学校教育系施設	地域施設	342	S56					
小出地区コミュニティセンター	市民文化系施設	地域施設	803	H5	62.0%	2	4		
子どもの家わいわいハウス	社会教育系施設	地域施設	130	H5					
小出青少年広場	社会教育系施設	地域施設	-	-					
芹沢富士見台青少年広場	社会教育系施設	地域施設	-	-					
民俗資料館（旧三橋家）	社会教育系施設	広域施設	180	1827					
民俗資料館（旧和田家）	社会教育系施設	広域施設	214	1855					
芹沢スポーツ広場蹴球兼野球場・庭球場	スポーツ・レクリエーション系施設	広域施設	122	H12					
小出暫定スポーツ広場	スポーツ・レクリエーション系施設	広域施設	20	H8					
堤スポーツ広場 多目的球戯場・庭球場	スポーツ・レクリエーション系施設	広域施設	156	H20					
堤スポーツ広場多目的広場	スポーツ・レクリエーション系施設	広域施設	8	H20					
市民の森	公園・緑地	市域施設	40	H18					

※利用率については、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は利用状況が他年度と大きく異なることから平成29～令和元年度データの平均値を採用しています。

※上記「貸室構成」の諸室については、施設の再配置検討の参考とするため、ホール、体育館、調理室及び図工室等の特殊な設備等のある諸室を除く貸室を対象としています。

ウ 現状と課題

視点	現状と課題
ストック	<ul style="list-style-type: none"> 小出地区は本市で2番目に人口の少ない（令和2年度実績）地区です。 令和2年度～令和37年度までの人口推計によると、令和2年度以降は減少傾向にあり、令和37年度までに23.4%の人口減少が見込まれています。 生産年齢人口の減少率が他の地区に比べて高く、令和37年度までに30.8%の人口減少が見込まれています。また、市内で唯一、老年人口が減少する地区であり、令和37年度までに14.5%の減少が見込まれています。 「ちがさき都市マスタープラン」上では、北部丘陵地域に区分されており、市の北側に位置し、藤沢市と寒川町が隣接する地区で、本市が管理・運営する施設の4.2%（19,844㎡）、29施設が立地しています。地区域が広いと、公共施設は住宅地や幹線道路沿等の限られた場所に点在しており、その29.9%（5,924㎡）は文化・スポーツ施設などの広域施設及び市域施設です。

	<ul style="list-style-type: none"> • 本地区の建物で築 30 年以上経過している施設は 65.9% (13,077 m²) で、市域全体 (61.8%) と比較すると、老朽化の進んだ施設が多く配置されています。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 貸室機能を持った施設は 3 施設あり、各施設の平均貸室利用率は 44%~76.4% を推移しています。 • 地域住民の利用を前提とした地域施設は 11 施設であり、地区内に配置された公共施設の 66.1% (13,126 m²) となっています。

エ 今後の方針

視点	現状と課題
ストック	<ul style="list-style-type: none"> • 他の地区よりも人口が減少することが想定されている地域であることから、今後の人口規模を考慮の上、共有可能な施設については集約化の可能性を検討します。また、藤沢市に隣接する地域については、藤沢市との連携のもと、サービス・機能の広域化や施設の相互利用などの可能性を検討するなど、地区内の今後の人口動向や施設の配置、老朽化及び利用状況などを勘案し、施設の統廃合・複合化・集約化の可能性を検討します。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 本市の北部丘陵地域に位置する地区であり、老年人口の割合が多い地域であることから、高齢者等の福祉施設や行政系施設、地域集会施設などが配置するほか、文化・スポーツ施設などの多様な世代にも配慮した機能を集約し、引き続き、地域住民へのサービス維持・向上を目指します。